

第19回 オーライ！ニッポン大賞の決定について 2023年5月19日



都市と農山漁村の共生・対流推進会議（オーライ！ニッポン会議 代表：養老 孟司）は、「第19回オーライ！ニッポン大賞」を決定しました。表彰式については、7月13日に品川フロントビル会議室で開催します。

第19回オーライ！ニッポン大賞 受賞者一覧

【オーライ！ニッポン大賞グランプリ】内閣総理大臣賞 1件

- ・特定非営利活動法人グリーンウッド自然体験教育センター (長野県 泰阜村)

【オーライ！ニッポン大賞】3件

- ・下川町産業活性化支援機構（タウンプロモーション推進部） (北海道 下川町)
- ・特定非営利活動法人 遠野山・里・暮らしネットワーク (岩手県 遠野市)
- ・一般社団法人東彼杵ひとこともの公社 (長崎県 東彼杵町)

【オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞】3件

- ・特定非営利活動法人明日香の未来を創る会 (奈良県 明日香村)
- ・有田川町×龍谷大学 (和歌山県 有田川町)
- ・農事組合法人ながさき南部生産組合 (長崎県 南島原市)

【オーライ！ニッポン ライフスタイル賞】5者

- ・瀬崎 真広（セザキ マサヒロ）さん (東京都 江戸川区)
- ・牛田 光則（ウシダ ミツノリ）さん (新潟県 上越市)
- ・三瓶 裕美（サンベ ヒロミ）さん (島根県 雲南市)
- ・國田 将平（クニタ ショウヘイ）さん (広島県 広島市)
- ・山中 裕加（ヤマナカ ユカ）さん (愛媛県 西条市)

受賞団体の概要は、下記のサイトからご覧ください。(PDF)

<https://www.kouryu.or.jp/information/19thohraiwawards.html>

◆第19回表彰式と第17回及び第18回受賞者の集い

第19回表彰式とともに、受賞者並びに来場者の皆様の安全を第一に考え、感染予防及び拡散防止の観点から表彰式の中止とした第17回及び第18回の受賞者も招待して「受賞者の集い」を7月13日に開催します。

+++++

オーライ！ニッポン大賞事務局 (一財)都市農山漁村交流活性化機構 茅原 裕昭

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階

TEL 03-4335-1985 (直通) FAX 03-5256-5211

第19回オーライ！ニッポン大賞審査委員会委員名簿

(50音順敬称略)

◎印は、審査委員会長

井上 和衛 明治大学名誉教授

岡島 成行 公益社団法人日本環境教育フォーラム会長

嵩 和雄 國學院大學 観光まちづくり学部准教授

嵯峨 生馬 特定非営利活動法人サービスグラント代表理事

志村 格 一般社団法人日本旅行業協会理事長

長岡 杏子 株式会社TBSホールディングス事業投資戦略局  
ライフスタイル事業戦略部部長

馬場 未織 NPO 法人南房総リパブリック理事長

平野 啓子 語り部・かたりすと・大阪芸術大学放送学科教授

◎安田 喜憲 国際日本文化研究センター名誉教授  
一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構理事長

## 第19回オーライ！ニッポン大賞の経過について

### 1 応募状況

応募者数は30件（オーライ！ニッポン大賞22、ライフスタイル賞8）

第19回は、引き続き、新型コロナウイルス感染症禍の影響もあり、全体の応募数は、対前年比48%にとどまる。初応募は20件（66%）と前回の46件（73%）よりも比率は若干下回った、再応募は10件（33%）

部門別では、

- ・学生若者カツヤク都市のチカラ部門6件
- ・交流イノベーション部門（コロナ禍での工夫等）13件
- ・農山漁村イキイキ実践部門 14件

第18回、応募者数は63件（オーライ！ニッポン大賞53、ライフスタイル賞10）

第17回、応募者数は93件（オーライ！ニッポン大賞79、ライフスタイル賞14）

第16回、応募者数は94件（オーライ！ニッポン大賞79、ライフスタイル賞15）

- ・累計 応募数 オーライ!ニッポン大賞1792件（受賞者数206件）
- ・累計 応募数 ライフスタイル賞大賞 280件（受賞者数77件）

第19回までの受賞率 オーライ10.43%、ライフスタイル賞27.5%

### 2 募集締め切り

- ・応募期間

募集開始令和4年9月26日 →応募締め切り11月30日 ※応募期間の延長〆切12月26日

第18回 募集開始令和3年1月29日→ 応募締切3月26日 ※応募期間の延長〆切4月16日

第17回 募集開始令和元年12月19日 → 応募締切1月31日 ※ 応募期間の延長無

第16回 募集開始平成30年11月26日 → 応募締切1月31日 ※ 応募期間の延長無

## 第19回オーライ！ニッポン大賞募集要領

### 1 募集の目的

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、一見、都市と農山漁村の人の流れは細々としてしまったかのように見えます。しかし、都市住民のゆとり、やすらぎ志向による農林漁業体験、農山漁村交流へのニーズは心のつながりがある限り、絶えるものではありません。一方、高齢化・過疎化が進行している農山漁村地域では活性化への願いが消えることはなく、他方、コロナの影響が鎮まれば、都市と農山漁村に住む双方の人々の交流を活性化し、自然にふれあう充実したライフスタイルを人々が実践する都市と農山漁村の共生・対流の取り組みを求めるニーズは充満しています。「都市なくして農山漁村の安定なし、農山漁村なくして都市の安心なし」都市と農山漁村が互いに信頼しあいながら助け合う心の結びつきが、これを支え続けているからです。

都市と農山漁村の共生・対流推進会議では、「都市側から送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を生かした受入側の活動」を実践している方々(オーライ！ニッポン大賞)や、Iターン等により農山漁村において個性的で魅力的なライフスタイルを実現している方々(ライフスタイル賞)を表彰するとともに、優れた取組事例を幅広く普及することで、各地における共生・対流に向けた様々な活動を一層促進することを目的に「オーライ！ニッポン大賞」を実施します。

(2) 近年、各地を襲う自然災害の多発に対して、被災地の復興支援のボランティア活動をきっかけとして当該地域の活性化に発展した例や田園回帰・関係人口(自分のお気に入りの農山漁村地域に定期的に通う、あるいは頻繁に通わなくても何らかの形で農山漁村地域を応援してくれるような人たち)を創出するような取り組みが見られ、これらも評価していきます。また、今般の新型コロナウイルス感染症では、やむをえず、都市農村交流事業や農山漁村体験学習の機会の中止、延期をされた地域もあるため、対前年比を大幅に下回る交流事業成果であっても過去の実績を考慮しての評価や新たな活動への着手など将来に期待する活動も評価することとします。

### 2 主催等

- (1) 主催 オーライ！ニッポン会議(都市と農山漁村の共生・対流推進会議)
- (2) 協賛 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
- (3) 後援(予定) 総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、一般社団法人日本経済団体連合会、全国知事会、全国市長会、全国町村会

### 3 募集の対象

募集対象は、「オーライ！ニッポン大賞」(団体・個人)と「オーライ！ニッポン ライフスタイル賞」(個人)の2種類です。

#### (1) オーライ！ニッポン大賞

都市と農山漁村の共生・対流に関する取り組みのうち、「都市側から人を送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を活かした受け入れ活動」等を通じて、都市と農山漁村の共生・対流の拡大に寄与した実績、効果及び持続性の高い団体又は個人を募集の対象とし、次の3部門を設定します。(部門は複数重複して応募可)

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、都市農村交流事業や農山漁村体験学習についても、やむ

をえず中止、延期となっているところがあります。このため、直近年は対前年比を大幅に下回る交流事業成果であっても、それ以前の過去の実績を考慮して、評価することといたします。

また、このような厳しい状況下にあることに鑑み、将来を見据えた新たなオンラインによる都市農村交流や関係人口創出、さらにコロナ禍において注目されている、農山漁村地域でのテレワーク、サテライトオフィス、休暇を取り入れながらテレワークするワーケーション、SDGs等、時代に即した新たな取り組みにチャレンジされている活動も評価することといたします。

ア 学生若者カツヤク・都市のチカラ部門

- ・主に30代くらいまでの若者の活躍によって推進されている活動や主に都市側からの働きかけによって推進されている活動
- ・例えば、棚田保全や棚田の活用など地域と連携して取り組む活動など。
- ・想定される応募主体は、大学、小中高校、各種学校、子ども会、クラブ活動、サークル、ボランティア組織、NPO、学生ベンチャー企業、都市側の企業、自治組織、市町村、学校等等（法人格の有無は問いません）

イ 交流イノベーション部門（コロナ禍での工夫等）

- ・新型コロナウイルス禍により、新たにはじめられた農山漁村支援の取り組み
- ・関係人口創出に向けた新たな取り組み（関係人口とは、自分のお気に入りの農山漁村地域に定期的に通う、あるいは頻繁に通わなくても何らかの形で農山漁村地域を応援してくれるような人たち）
- ・起業、創業等農山漁村を舞台に都市との交流の取り組み
- ・その他、これまでにない都市と農山漁村の交流やライフスタイルを推進すると取り組み

ウ 元気な農山漁村部門（法人格の有無は問いません）

- ・主に農山漁村側からの働きかけによって推進されている活動
- ・想定される応募主体は、農山漁村側の企業、NPO、ボランティア組織、自治組織、市町村、学校等

(2) オーライ！ニッポン ライフスタイル賞

都市部から移住したUJIターン者もしくは都市と農山漁村を行き来する二地域居住者等のうち、農山漁村地域において共生・対流の活動に取り組みながら、魅力的なライフスタイルを実践している個人を募集の対象とします。

個人による共生・対流の活動の具体例を参考として次にお示しします。

- ・農山漁村地域における交流体験イベントや環境保全活動の企画運営、地域文化の継承創造、市民農園の開設及び古民家の発掘斡旋等を通じて、移住者や交流人口の増加に貢献
- ・地域資源活用のビジネス（民宿、レストラン、体験ビジネス等）を起業し交流人口や雇用の増加に貢献
- ・農村を舞台に、農業を営むことと、他の仕事を両立させる「半農半X」という新たなライフスタイルを展開している者など

4 表彰の種類及び副賞 表彰の種類及び副賞は次のとおりです。

表彰の種類	件数	副賞
オーライ！ニッポン大賞グランプリ（内閣総理大臣賞を申請予定）	1件	15万円
オーライ！ニッポン大賞	3件程度	5万円
オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞	数件	3万円
オーライ！ニッポン ライフスタイル賞	5件程度	3万円

副賞（賞金）は、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構から贈呈されます。

5 審査の方法

(1) 学識経験者などで構成される審査委員会において、応募書類にもとづく書面審査によって行います。審査は非公開とし、審査の経過や審査結果に至った理由等に関する問い合わせには応じないものとします。

(2) 審査の基準

各賞の審査の基準は次のとおりです。ただし、学生・若者カツヤク部門、交流イノベーション部門や、震災等の災害からの復興に関する取り組みは、継続性において活動期間の短さ等を理由に不利にならないよう配慮します。

①オーライ！ニッポン大賞

新規性	農山漁村地域を舞台に新ライフスタイルの提案、普及の取り組みや <u>コロナ禍での工夫したこと</u>
独自性	地域固有の資源や個性を活かした、オリジナリティ豊かな取り組みであること。
持続性	法人化や収益向上等により持続性の高い取り組みであること。
モデル性	他地域への応用や波及が期待できるモデル性の高い取り組みであること。
効果性	農山漁村地域を活性化する効果があり、今後も効果が持続して発現すると見込まれること。
社会性	地域の内外の多様な主体が参加連携し、地域の課題解決に取り組んでいること。

②ライフスタイル賞

新規性	農山漁村を舞台に新たなライフスタイルの実践や <u>コロナ禍での工夫したこと</u>
独自性	個性的で魅力のある活動であること。
継続性	新たなライフスタイルの実践に継続性があること。
モデル性	新たなライフスタイルが他の人の参考となるものであること

6 オーライ！ニッポン大賞事務局（応募先・お問い合わせ先）

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 45 神田金子ビル5階 まちむら交流きこう内  
 オーライ！ニッポン大賞事務局 Tel：03-4335-1985 Fax：03-5256-5211

E-Mail：[ohrai@kouryu.or.jp](mailto:ohrai@kouryu.or.jp) WEB：<https://www.kouryu.or.jp/service/ohrai.html>

## 都市と農山漁村の共生・対流推進会議「オーライ！ニッポン会議」とは

1. 設立 2003（平成15）年6月23日

### 2. 設立趣旨

都市と農山漁村に住む人々の相互の交流を盛んにして、お互いの生活や文化の良いところを取り入れて充実したライフスタイルを作り上げ、都市と農山漁村の間で「人・もの・情報」が循環（共生・対流）する社会を創り出すことで、ゆとりある生活や経済の活性化を図ることを目的とする。

### 3. 活動内容

- (1) 都市と農山漁村を行き交う新たなライフスタイルを広めるためのシンポジウム、イベントなどの開催
- (2) 都市と農山漁村の共生・対流を進める優れた取組事例について表彰し普及
- (3) 共生・対流を進める様々な活動についてホームページを用いて情報提供
- (4) 共生・対流の推進方策（グリーン・ツーリズム、NPO活動、情報の提供等）の検討と提案

### 4. キャンペーンネーム、ロゴマーク

<キャンペーンネーム>

オーライ！ニッポン

<ロゴマーク>



〔意味〕

- 日本全国で、もっと交流を深めよう
- 都市と農山漁村の往来によって、日本を健康にしよう。
- 日本を見つめて、農山漁村をもっと知ろう。

〔解説〕

- ・「オーライ！ニッポン」とは、都市と農山漁村を人々が活発に“往来”し、双方の生活文化を楽しむことで、日本が all right（健全）になることを表現

### 5. 役員

代表	養老 孟司（東京大学名誉教授）
副代表	安田 喜憲（国際日本文化研究センター名誉教授）
副代表	平野 啓子（語り部・かたりすと、大阪芸術大学放送学科教授）
運営委員会会長	金子 家治（元トップツアー(株)取締役会長）



## 第19回オーライ！ニッポン大賞表彰式概要

日時 令和5年7月13日(木) 13:30～

会場 品川フロントビル会議室 〒108-0075 東京都港区港南 2-3-13

品川フロントビル B1階 TEL:03-5463-9957

主催 オーライ！ニッポン会議

協賛／協力 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構

### ●内容案

- ・ 養老孟司 オーライ！ニッポン会議 代表と平野啓子 副代表の挨拶及び講演
- ・ 賞状等授与
- ・ 記念撮影（第19回、第18回、第17回）
- ・ 受賞者の活動内容の紹介
- ・ 受賞者の集い（交流会）他



参考「第16回表彰式記念撮影の様子」



## 会場案内図



- 品川フロントビル会議室 〒108-0075 東京都港区港南 2-3-13  
品川フロントビル B 1階 TEL:03-5463-9957 FAX:03-5463-9958

### ●アクセス

- JR 山手線・京浜東北線・横須賀線・東海道本線「品川駅」港南口より徒歩 3分
- 東海道・山陽新幹線「品川駅」港南口より徒歩 3分
- 京急「品川駅」より徒歩 8分

※港南口を出て正面のエスカレーターを降りていただき、そのまま真っすぐ商店街を歩いていただくと左手に「品川フロントビル」があります。



**【オーライ！ニッポン大賞受賞者の集い 参加予定者】**

**第17回オーライ！ニッポン大賞受賞 11団体**

**【オーライ！ニッポン大賞グランプリ】 内閣総理大臣賞**

一般社団法人そらの郷

(徳島県 三好市)

**【オーライ！ニッポン大賞】**

奥矢作移住定住促進協議会

(岐阜県 恵那市)

あば村運営協議会

(岡山県 津山市)

有限会社 シュシュ

(長崎県 大村市)

**【審査委員会長賞】**

特定非営利活動法人ソーシャルファームさんじょう

(新潟県 三条市)

静岡文化芸術大学 引佐耕作隊

(静岡県 浜松市)

株式会社 日向屋

(和歌山県 田辺市)

**【ライフスタイル賞】**

志藤 一枝 さん

(山形県 朝日町)

塩月 祥子 さん

(岐阜県 白川町)

岡山 茉莉 さん

(京都府 舞鶴市)

和田 新藏 さん

(鹿児島県 霧島市)

**第18回オーライ！ニッポン大賞受賞 12団体**

**【オーライ！ニッポン大賞グランプリ】 内閣総理大臣賞**

一般社団法人 竹田文化共栄会

(福井県 坂井市)

**【オーライ！ニッポン大賞】**

特定非営利活動法人自然史データバンクアニマ net

(栃木県 栃木市)

元沼津市地域おこし協力隊 青山沙織 さん

(静岡県 沼津市)

有限会社 兵吉屋

(三重県 鳥羽市)

**【審査委員会長賞】**

特定非営利活動法人サービスグラント

(東京都 渋谷区)

NPO 法人小さな村総合研究所

(山梨県 丹波山村)

NPO 法人 Peace & Nature

(兵庫県 神戸市)

ロコネクト合同会社

(山口県 周防大島町)

**【ライフスタイル賞】**

寺内 昇さん・郁子さん

(北海道 北竜町)

門脇 富士美 さん

(秋田県 仙北市)

高坂 勝 さん

(千葉県 匝瑳市)

水野 裕之 さん

(愛媛県 宇和島市)

# オーライ！ニッポン大賞

## 第1回から第19回までの 都道府県別受賞者数一覧

・第19回受賞者の地域

・第18回受賞者の地域

・第17回受賞者の地域

都道府県名	大賞	LS賞	合計	増加
北海道	12	3	15	1+
青森県	6	3	9	
岩手県	7		7	1+
宮城県	2	3	5	
秋田県	4	3	7	
山形県	6	2	8	
福島県	3	2	5	
茨城県	2		2	
栃木県	5	1	6	
群馬県	2		2	
埼玉県	2		2	
千葉県	3	2	5	
東京都	19	2	21	1+
神奈川県	2	1	3	
山梨県	3	1	4	
長野県	11	5	16	1+
静岡県	10		10	
新潟県	7	2	9	1+
富山県	1	4	5	
石川県	3		3	
福井県	5	1	6	
岐阜県	3	2	5	
愛知県	3	2	5	
三重県	6	2	8	
滋賀県	1		1	
京都府	1	1	2	
大阪府	3		3	
兵庫県	8		8	
奈良県	4		4	1+
和歌山県	8		8	1+

都道府県名	大賞	LS賞	合計	増加
鳥取県	2		2	
島根県	4	2	6	1+
岡山県	4	2	6	
広島県	2	2	4	1+
山口県	3	6	9	
徳島県	3		3	
香川県			0	
愛媛県	3	5	8	1+
高知県	9	5	14	
福岡県		1	1	
佐賀県			0	
長崎県	7	3	10	2+
熊本県	3	2	5	
大分県	2	1	3	
宮崎県	3		3	
鹿児島県	3	2	5	
沖縄県	6	4	10	
合計	206	77	283	

- ・大賞は、グランプリ、大賞、審査委員長賞のこと。
- ・LS賞はライフタイム賞を示す。
- ・赤字は、第19回受賞より増加があることを示している。